



Our company's slogan is "Make Delicious Happiness" and our job is to cultivate the sea bream in Uwajima. Ehimc.Japan. That sea bream named "TAICHIRO KUN", it is so delicious.

TAICHI TOPICS ONE

VOL. 38

タイチトピックスワン

April

NEWS OF THIS MONTH

taichi
TAICHI INC.
SINCE 1959

Taichi.inc Publication paper



3回目の防災講習会

講習が始まる前に川本講師と避難場所に着いてみました。海抜を調べたり、雨露から身を守るか、広場はあるか、保存食は保管できるか、などなど簡単にチェックしてからの防災講習となりま

した。何かあった時物資が届き始めるのは3日後くらいから。その間の衣食住の確保ができるのか、という事だそう。3回目ともなると社員たちもだんだん熱が入って来て真剣そのもの。神戸の震災時の経験から、こんな時あなたならどうする！と言った考える事をやってみる。これは参考になりました。川本講師、律儀にスーツで上着も着たまま汗をかきかきの熱血指導！

次回の宿題も頂いて：おー、頭が痛い！！

シマアジ稚魚入荷

近大産シマアジ鯛を見てシマアジを見たと弱そう。固いウロコで覆われている鯛とそうじゃないシマアジ。気を使いますねー。近年、中国やアメリカにも沢山出て行くようになりました。値段も鯛やハマチよりずっと良く、鯛の倍位の値段で取引されています。その分病気で苦しむのですが、弊社ずいぶん順調に育ってきています。この調子だと秋くらいには出荷



が始まると思います。皆様のお店に届けられるように育てて行きたいと思います。待って下さいね。

4/5

14回目の海のゴミ拾い

今回20数名が6ヶ所に分かれての掃除です。つまり、テトラポットと近くの海岸線が軽くなってきたという事です。今回は何とロープやネットが多い事。全部海で働く人が出したゴミです。海で働くものとしてチョット辛い。魚類・真珠・漁・カキ。ほぼ全ての業種の物がある。自分がゴミ拾いに参加すると捨てちゃだめだという事がよく分かるのですけれど、皆出てこないから。しかし毎回毎回こんなに沢山の



人がよくもまあ集まってくれるものだと思います。今回も松山から5人。自分が松山まで行ってやるかと考えると、そのボランティア精神に脱帽。今後ともどうぞよろしくお願いします。

4/2

社長あいさつ

4/29



ロシアの暴挙からはや2ヶ月。ウクライナの人達の強さは目を見張りますね。どうぞ核戦争の引き金だけは引かないで下さいと祈るばかりです。先日G7の映像がニュースで流れました。誰一人マスクをしていないのにビックリしました。そういえばイギリス、フランス、アメリカなどロシア規制は撤廃

し日常が戻って来ていて飲食も遅くまで楽しんでる人にもこれまで国から入って来ないという事。日本はいつになら世界に追いつくのでしょうか。元々世界から比べると重症者も少ない日本なのに規制だけは厳しい。責任を取りたくない政治家がこの国の経済をつぶしているんだ。日本を先進国ではなくなくなった日本をこれ以上衰退させないように政治家に頑張ってもらいたいです。いつにない辛口の挨拶になってしまいましたがお許しください。

らしなど見る事がなくなってきた。弊社では鯛一郎クンの刺身と鯛めしを食して頂きました。東京で食べる物とはまた一味違った味ではないかと思えます。海のそばで食べると格別旨いんですよ。東京での会に私もいちど参加させて下さいね。ちよっとワクワクしています。



東京で南予の食を紹介するという取り組みをされている LaSiQue さん。懐かしい鯛そうめんや鯛めしなどを振る舞っているそうです。田舎でも最近は自宅での宴会が減り、鯛そうめんやフカの湯が

4/15

近大奄美稚魚はいりました

毎回、そして何年も同じような画像ばかりでちよっとも新鮮味がないのですがお許しください。弊社の養殖、そして出荷を大きく支えてくれているのが近大奄美です。これを大中小と選別して、大は約2年、小は約2年半で出荷になります。毎年少しづつ稚魚の出来は違って少しづつ差はありますがほぼほぼ順調に育っています。それは計算通りと言うくらいに



育っています。ありがたいですね。近大、やっぱパイオニアです。

4/13

MEL 国際認証授与式

4/13

大阪シーフードショーの続きの間でまだ行われていなかった MEL 国際認証の授与式です。垣添マリン・エコーラベル・ジャパン会長は MEL 世界生産物持続可能性イニシアチブという世界で認められ国際基準に合格した認証制度なので胸を張って社会に訴えて下さいとスピーチされました。要するに国際機関がサステナブルな養殖をやっていますよ、というお墨付きを出したという事です。世の中はサステナブルでエシカルに配慮したビジネスが求められるようになって来ました。水産業界もこの流れと無縁



ではいられません。弊社も一層取り組みを強化して行こうと思えます。応援して下さいね。